

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Recurrent basal cell carcinoma treated with radiation therapy	
	論文の日本語タイトル	再発性基底細胞癌に対する放射線療法	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ17-5	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	1952970	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Archives of Dermatology	
	雑誌 ID		
	巻	127	
	号	11	
	ページ	1668-1672	
	ISSN ナンバー	pISSN: 0003-987X eISSN: 1538-3652	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1991	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Wilder RB	University of Arizona College of Medicine
	その他著者 1	Shimm DS	
	その他著者 2	Kittelson JN	
	その他著者 3	Rogoff EE	
	その他著者 4	Cassady R	
	その他著者 5		
	その他著者 6		
その他著者 7			

一次研究の 8 項目	目的	再発性基底細胞癌に対する放射線療法の有用性を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	米国の 1 大学病院	
	対象者	再発性基底細胞癌 50 例 61 病巣	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 14 ）	
	介入（要因曝露）	放射線療法 30～70.2Gy（臨床的あるいは組織学的な腫瘍境界から 5mm 以上 広い範囲）	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再々発	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
レビューワー コメント	主な結果	観察期間の中央値は 57 カ月（1～144 カ月）で、61 病巣中 6 病巣（9.8%）が 再々発（内、2 病巣は消退得られず）。腫瘍径、病期、部位、組織型、年齢、性、 線量、照射回数、照射期間、線源を共変量とした Cox の比例ハザードモデルで は、腫瘍径と病期のみが再々発に有意に影響する因子であった。	
	結論	放射線療法は再発性基底細胞癌に対して有用な治療である。	
	備考		
レビューワー氏名	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV） 再発性基底細胞癌の治療に関する他の報告に比較すると、観察期間が長い点は データとしての価値が高い。再々発率は 9.8%とやや高めではあるが、39 例は 2 回以上再発している症例であり、morpheaform が 10 例を占めるなど、ハイ リスク症例を多く対象としているためと考えられる。	